

みやこ 社協だより

2026 [令和8年]
3月1日号
No.71

制作・発行 社会福祉法人
宮古市社会福祉協議会



この広報誌は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

これまでのご支援に感謝を込めて

東日本大震災被災者支援事業のため配置された生活支援相談員は、令和8年3月31日をもって、その役割を終えることになりました。配置以来、多くの皆様にご支援いただき、地域の復興と生活再建に向けた歩みをともに進めてまいりました。ここに深く感謝申し上げます。

被災者支援の歩み

平成 23 年 3 月 13 日

災害ボランティアセンターを開設し、県内外からのボランティア協力により被災住宅の泥出し、物資仕分け、避難所支援、炊き出し、仮設住宅への引っ越し支援などを実施しました。



平成 23 年 9 月 13 日

宮古市生活復興支援センターに改称し、被災者生活支援に活動を移行。岩手県社会福祉協議会から委託を受け生活支援相談員 20 名を配置し、被災された地域住民の見守りや生活上の困りごとを聞き取り、関係機関へのつなぎを行いました。

平成 23 年 10 月 1 日

仮設住宅集会所・談話室へ支援スタッフ 24 名を配置し、集会所の利用支援を行いました。イベントや余暇活動など交流の場として活用されました。



平成 24 年 11 月～

宮古市福祉コミュニティ復興支援事業を受託し、コーディネーター 3 名を配置。

平成 25 年～

災害公営住宅への入居がスタート。各地域で住民交流イベントが開催されました。

平成 25 年より活動支援団体の連携・情報交換の場「さ・わかフェ」を開催

平成 26 年 3 月

仮設住宅集会所支援員常駐が終了し、地域コーディネーターへ移行（12名）。転居が始まったことに伴い、地域内での交流を深めるため、仮設住宅・災害公営住宅自治会交流会を開催しました。



平成 29 年 12 月

公営住宅への入居がほぼ完了
「仮設住宅同窓会～みやこの運動会～」を開催

- 平成 31 年 3 月** 福祉コミュニティ復興支援事業終了
- 令和 2 年 11 月** 移住再建された方や地域の方も交流する見守り支援拠点（末広町カフェ風）を開始
- 令和 4 年 10 月** 宮古市から委託を受け、宮古市被災者支援事業を開始（2名配置）
- 令和 7 年 9 月** 宮古市被災者支援事業終了
- 令和 8 年 3 月** 東日本大震災被災者支援事業終了



生活支援相談員の配置は終了いたしますが、地域の絆はこれからも続いていきます。みなさまのこれからの生活が、安心と笑顔に満ちたものとなりますよう、これからも生活のお困りごとへの相談を続けていきます。

お困りごとの相談はこちらの窓口へ

相談する 各窓口とでんわは次のとおり

各地域包括支援センター（高齢者やその世帯の困りごと等）

- | | | | | | |
|-----------------------|----------------|------------------------|----------------|------------------------|----------------|
| ・みやこ河南
（河南中学校区） | 77-5959 | ・みやこ西部
（宮古西・花輪中学校区） | 77-5771 | ・みやこ南部
（津軽石・重茂中学校区） | 77-4471 |
| ・みやこ北部
（第二・崎山中学校区） | 65-8489 | ・みやこ中央
（第一中学校区） | 65-8151 | ・たろう
（田老第一中学校区） | 65-6010 |
| ・にいさと
（新里中学校区） | 77-4030 | ・かわい
（川井中学校区） | 79-5008 | | |

宮古圏域成年後見センター（成年後見制度に関する相談） **64-5051**

宮古地域福祉権利擁護センター（日常生活自立支援事業に関する相談） **64-5052**

資金貸付（生活福祉資金・たすけあい銀行に関する相談） **64-5051**

くらしネットみやこ相談室（生活困窮者自立支援・こども食堂・学習支援に関する相談） **65-7046**

活動する でんわ：77-3061

ボランティア・市民活動センター／共同募金・歳末たすけあい運動等



災害時における協力体制に関する協定を締結しました

1月27日に災害時協力に関する三者協定を宮古市、陸中宮古青年会議所と締結しました。

この協定締結により、災害発生時に被災者や避難所への物資の提供、災害ボランティアセンターの運営、資機材の確保などの相互協力体制を構築し、円滑な災害応急対策を実施してまいります。



第20回宮古市社会福祉大会を開催しました

11月30日、宮古市総合福祉センターで、第20回宮古市社会福祉大会が開催されました。社会福祉の発展に功績のあった40名、2団体に宮古市長感謝状、宮古市社会福祉大会会長表彰等が贈られました。

～被表彰者（敬称略）～

【宮古市長感謝状】

佐藤七郎、中嶋タミ子、鈴木清次郎、小野寺京子、岡崎江利子、上野和子、大久保義夫、大森多美子、畠山幸子、小堀内ゆみ子、伊藤厚子、山崎恵美子、前川正、鈴木恵子、佐々木協子、田越圭子、中居克広、波岡達彦、佐々木千代子、山口正子、褰岩茂人、山崎和茂、中村世志子、永洞勝男

【宮古市社会福祉大会会長褒賞】

小金淵ハル子、野崎将勝、三上愛子、飛澤みや子、内竹幸孝

式典終了後は、公益財団法人さわやか福祉財団の鶴山芳子氏を講師に迎え、「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために～住民主体でつくる地域の支え合い～」をテーマに、講演会を行いました。参加されたみなさまは、支え合いの地域づくりの事例などを確認しました。



【宮古市社会福祉大会会長表彰】

増井恒彦、大久保孝雄、金澤英司、吉田弘子、山名洋、小日山幸子、加藤俊郎、連合岩手宮古地域協議会、田鎖老人クラブ、太田清一

【岩手県共同募金会長感謝状】

佐々木善憲、中済秀美、町田辰男



社協会費、共同募金にご協力ありがとうございました。

会費実績報告 (12.31現在) 14,924,080 円

今年度も地域のみなさまから、たくさんのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

「ともに生きる豊かな地域社会づくり」を目指して、福祉のまちづくりのために大切に活用させていただきます。



福祉体験

赤い羽根共同募金実績報告 (12.31現在) 8,560,464 円

赤い羽根共同募金は、福祉の学びや担い手づくり、住民同士のサロンによる交流・見守りや、つながりの場づくり、住民主体の地域活動への支援として、ふれあいいきいきサロンなどの活動や、障がい者団体への助成などに使われます。

詳しくは赤い羽根だより(ホームページ掲載)をご覧ください。



山口団地 新年世代間交流

歳末たすけあい募金実績報告 (12.31現在) 6,569,669 円

歳末たすけあい募金は、在宅の介護者、障がい児・者、出生世帯への配分や、地域で自主的に活動している当事者団体、子育てサークル、年末年始に行われる地域づくり事業に配分されます。右の写真は今年実施された花輪地区での「こども食堂キッチン花輪(かりん)」の様子です。



田鎖地区「キッチン花輪」

寄付のお礼

みなさまの心温かいご寄付に感謝いたします

令和7年6月1日～令和7年12月31日

寄付金

宮古ロータリークラブ 様	95,000 円
ほっとほーむ演芸会実行委員会 様	12,154 円
匿名 北海道札幌市在住 様	150,000 円
下閉伊酒類商業協同組合 様	59,101 円
MMC代表 三谷精子 様	253,850 円
小山田老人歌の会 様	10,000 円
リズム 様	2,410 円
宮古民主商工会婦人部 様	3,000 円
伊藤恵美フィットネス代表 伊藤恵美 様	3,510 円
M-ZUMBA 代表 成ヶ澤智子 様	2,557 円
立正佼成会釜石教会 様	100,000 円
宮古市社会経験者大学 様	10,000 円
宮古市立第一中学校・田野畑村立田野畑中学校	8,500 円
バスケットボール部父母会 様	
宮古市グラウンドゴルフ協会 様	13,700 円
連合岩手宮古地域協議会 議長 菅原昭敬 様	80,000 円
華厳院 様	18,109 円

物品寄附

社会福祉法人若竹会 様	食料品
いわて生活協同組合 様	食料品
大森正幸 様	食料品
刈屋裕之 様	お米
明治安田生命保険相互会社宮古営業所 様	食料品
田村和子 様	壁掛け時計
長沢雅彦 様	食料品
株式会社モリレイ 様	介護用品
匿名 様	寝具類
パンチ工業株式会社宮古工場 様	食料品・日用品
いわて生協宮古コープ西町こ〜ぶ委員会 様	食料品
明治ホールディングス株式会社株主会 様	食料品
鈴木暢子 様	食料品
末日聖徒イエス・キリスト教会 様	食料品
株式会社公楽ウインズ宮古 様	食料品
神田農園 様	食料品
(株)小野寺商会 様	飲料品
橋爪商事株式会社宮古支店 様	カレンダー
ひらい商店 様	食料品
株式会社吉田産業宮古支店 様	カレンダー
華厳院 様	食料品、寝具類

